※令和４年度以降入学生

学校番号	2004

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	数学Ⅰ（数研出版）						
副教材等	サクシード数学Ⅰ+A（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・問題集用のノートを用意してください。
・授業では小テストや補充プリントなどを取り入れ、日頃の定着度を測りながら進めます。
・日々の学習に対する復習を行い、問題集を使って理解度を確認するようにしてください。
・問題集用のノートは定期考査ごとに提出してもらいます。
・「なぜそうなるのか」、「別の考え方はないか」など疑問を持つ気持ちを大切にして授業に臨んでください。

２　学習の到達目標

（１）数と式，図形と計量，２次関数及びデータの分析についての基本的な概念、原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈、表現・処理する技能を身につけるようにする。
（２）命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
（３）数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式，図形と計量，２次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　数と式	第１節　式の計算 １．多項式 ２．多項式の加法と減法および乗法 ３．因数分解	a:乗法公式や因数分解の公式などを理解し、それらを用いて適切な式変形ができる。 b:複雑な式に対して、文字の置き換えなどを利用することで基本公式が使える形に帰着させるなど、式を多面的にとらえて考察することができる。 c:	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート
		第２節　実数 ４．実数 ５．根号を含む式の計算	a:数を拡張することの意義を理解し、それぞれの性質や計算方法について理解している。 b:実数の大小関係や絶対値の大きさなどについて数直線を利用して考察することができる。また対称式を様々な場面で活用することができる。 c:	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート
		第３節　１次不等式 ６．１次不等式 ７．１次不等式の利用	a:不等式の解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 b:　身近な問題について、条件を数式化し１次不等式の問題に帰着させて解決することができる。 c:絶対値記号を含む不等式など複雑な不等式を解くことに取り組む意欲がある。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生

	第2章　集合と命題	１．集合 ２．命題と条件 ３．命題と証明	a:集合や命題に関する基本的な概念･原理･法則などを理解し、知識を身に着けている。 b:ベン図などを用いて、集合を視覚的にとらえて考察し、命題の真偽の判断などに活用することができる。 c: 直接証明することが難しい命題も，対偶を用いた証明法や背理法を用いると鮮やかに証明できることに興味・関心をもち，実際に証明しようとする。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート
2学期	第3章　2次関数	第１節 １．関数とグラフ ２．２次関数のグラフ ３．２次関数の最大と最小 ４．２次関数の決定	a:２次関数の基本性質について理解し､グラフを正確にかき最大値･最小値を求めることができる。 b:２次関数の特徴について，表，式，グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 c: 日常生活における具体的な事象の考察に，２次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート
		第2節 2次方程式と2次不等式 ５．２次方程式 ６．グラフと２次方程式 ７．グラフと２次不等式	a:２次方程式･２次不等式の解法を理解し、これらを解くことができる。 b:２次方程式･２次不等式をグラフと関係させて考察し、様々な問題において活用することができる。 c: 身近な問題を２次不等式で解決しようとする。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート
	第4章　図形と計量	第1節　三角比 １．三角比 ２．三角比の相互関係 ３．三角比の拡張	a:三角比の定義や相互関係を理解し三角比の値を求めることができる。 b: 具体的な事象を三角比の問題として捉えることができる。 c: 日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生

3学期		第2節　三角形への応用 ４．正弦定理 ５．余弦定理 ６．正弦定理と余弦定理の応用 ７．三角形の面積 ８．空間図形への応用	a:正弦定理・余弦定理を理解し、それらを用いて三角形の角の大きさ、辺の長さ、面積などを求めることができる。 b:三角形の形状などに着目し、正弦定理・余弦定理を導くことができる。 c: 日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート
	第5章 データの分析	１．データの整理 ２．データの代表値 ３．データの散らばりと四分位範囲 ４．分散と標準偏差 ５．2つの変量の間の関係 ６．仮説検定の考え方	a:データ分析における基本的な概念、原理・法則を理解し、分散や標準偏差などを求めることができる。 b: データの相関について，散布図や相関係数を利用してデータの相関を的確に捉えて説明することができる。 c: 身近な事柄において，仮説検定の考え方を活用して判断しようとする態度がある。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度